

＜別紙：クレジットシステムの対象となる活動の証明書 記載事項例一覧＞

下表により、各活動における証明書の記載事項例について示します。

証明書には、①から⑥の事項が記載されていることが望ましく、記載事項に不足等ある場合、審査において証明書の可否を判断致します。

NDT 技術指導員の場合、証明書とは別に、訓練内容が判断できる書類（教育訓練の開催案内、訓練計画書、受講者が訓練を受けた記録及び講師が訓練を行った記録、受講（予定）者一覧、スケジュール及びカリキュラム等）の添付が必要となります。

| 分類 | 項目 | 活動 | 単位 | ①主催団体名 | ②責任者名 | ③分類内訳名 (NDT 関連の活動であることが分かること) | ④活動の名称 | ⑤活動の期間 | ⑥本人の氏名 |
|---------|-----|---|-------|---------|------------------------|----------------------------------|---------------|---------|--------|
| 会議・委員会等 | 1 | NDT 協会の会員 | 1 年 | NDT 協会名 | NDT 協会の押印 | —— | 会員種別等の名称 | 会員登録期間 | 会員の名前 |
| | 1 | NDT 及びそれに関連する科学及び技術を対象としたセミナー、シンポジウム、会議及び／又はコースに出席 | 1 会議 | 主催団体名 | 会議等の責任者名・押印（主催団体印可） | セミナー、シンポジウム、会議及び／又はコース名 | 出席した委員会等の名称 | 出席した年月日 | 出席者の名前 |
| | 2.1 | 国際及び国内の標準化委員会への出席 | 1 委員会 | 主催団体名 | 標準化委員会の責任者名・押印（主催団体印可） | 国際及び国内の標準化委員会名 | 出席した標準化委員会の名称 | 出席した年月日 | 出席者の名前 |
| | 2.2 | 標準化委員会の主催（委員長等）（主催と出席の両方のポイントが与えられます） | 1 委員会 | 主催団体名 | 標準化委員会の責任者名・押印（主催団体印可） | 標準化委員会名 | 主催した標準化委員会の名称 | 主催した年月日 | 主催者の名前 |
| | 3.1 | 上記2.1 以外の NDT 委員会への出席 | 1 委員会 | 主催団体名 | 委員会の責任者名・押印（主催団体印可） | 委員会名 | 出席した委員会の名称 | 出席した年月日 | 出席者の名前 |
| | 3.2 | 上記2.1 以外の NDT 委員会の主催（委員長等）（主催と出席の両方のポイントが与えられます） | 1 委員会 | 主催団体名 | 委員会の責任者名・押印（主催団体印可） | 委員会名 | 主催した委員会の名称 | 主催した年月日 | 主催者の名前 |
| | 4.1 | NDT 関連のワーキンググループ会合への出席 | 1WG | 主催団体名 | WG の責任者名・押印（主催団体印可） | WG 名 | 出席した WG の名称 | 出席した年月日 | 出席者の名前 |
| | 4.2 | NDT 関連のワーキンググループ会合の主催（WG リーダー等）（主催と出席の両方のポイントが与えられます） | 1WG | 主催団体名 | WG 会の責任者名・押印（主催団体印可） | WG 名 | 主催した WG の名称 | 主催した年月日 | 主催者の名前 |

| 分類 | 項目 | 活動 | 単位 | ①主催団体名 | ②責任者名 | ③分類内訳名 (NDT 関連の活動であることが分かること) | ④活動の名称 | ⑤活動の期間 | ⑥本人の氏名 |
|---------|-----|---|-------------------------------|---------------------|---|----------------------------------|---------------------|----------------------|---------------|
| 研究活動等 | 5.1 | NDT 関連の技術的若しくは科学的貢献又は出版 (NDT 研究成果の報告) (複数の場合、主となる者が他の者に与えられるポイントを明示する。分割の端数は 0.1 刻みにする) | 1 報告 | 発行団体名 | 報告物の発行責任者名・押印 (発行団体印可) | 報告名 | 執筆した報告等の名称 | 発行年月日 | 執筆者の名前 |
| | 5.2 | 発行された NDT 関連研究業務 (5.1 を除く NDT 関連出版物) (複数の場合、主となる者が他の者に与えられるポイントを明示する。分割の端数は 0.1 刻みにする) | 出版物 1 執筆 | 発行団体名 | 出版物の発行責任者名・押印 (発行団体印可) | 出版物名 | 執筆した出版物の表題等の名称 | 発行年月日 | 執筆者の名前 |
| | 5.3 | NDT 研究活動 (研究活動そのもの) (複数の場合、主となる者が他の者に与えられるポイントを明示する。分割の端数は 0.1 刻みにする) | 1 研究活動及び 1 プロジェクト | 研究活動及びプロジェクトを行った団体名 | 研究活動及びプロジェクトの責任者名・押印 (研究活動及びプロジェクトを行った団体印可) | 研究活動及びプロジェクト名 | 実施した研究活動及びプロジェクトの名称 | 実施年月日 | 実施者の名前 |
| 指導員・試験員 | 6* | NDT 技術指導員 (2 時間当たり) 及び／又は NDT 試験員 (試験 1 回当たり) | 指導員 : 2 時間 試験員 : 1 日 | 主催団体名 | NDT 技術講習会及び／又は試験の実施責任者名・押印 (主催団体印可) | 技術講習会名及び／又は NDT 試験名 | 担当した講義及び／又は試験科目等の名称 | 担当した講義年月日と時間及び／又は試験日 | 講師及び／又は試験員の名前 |

| 分類 | 項目 | 活動 | 単位 | ①主催団体名 | ②責任者名 | ③分類内訳名 (NDT 関連の活動であることが分かること) | ④活動の名称 | ⑤活動の期間 | ⑥本人の氏名 |
|----------------------|-----|---|----------------------|--------|------------------------|----------------------------------|--------------|---------|----------|
| 専門的な活動 (NDT 業務全般) | 7.1 | NDT 設備、NDT 訓練センター若しくは NDT 試験設備における活動又は NDT エンジニアリングのための活動(附属書 E 参照) (各通年) | 1 年 (資格証明書ごとに) | _____ | 活動の責任者名・押印 (主催団体印可) | _____ | 活動した内容(要旨) | 活動期間 | 活動者の名前 |
| | 7.2 | 顧客に関連した苦情処理 | 1 苦情処理 (資格証明書ごとに) | _____ | 活動の責任者名・押印 (主催団体印可) | _____ | 苦情処理した内容(要旨) | 苦情処理年月日 | 苦情処理者の名前 |
| | 7.3 | NDT の適用に関する開発 (NDT に関する特許の出願) | 1 特許 (資格証明書ごとに) | _____ | 活動の責任者名・押印 (主催団体印可) | _____ | 特許の内容(要旨) | 特許取得年月日 | 特許取得の名前 |

- * 証明書は、コピーでも構わない(クレジットシステム ポイント集計表において、提出された証明書類すべてを雇用責任者が証明するため)。
- * 「②責任者名」は、原則その活動の責任者としているが、「①主催団体名」の責任者又は責任を委譲されている者(例えば、主催団体事務局等)でも良い。
- * 「③分類内訳名」は、NDT 関連の活動であることが分かること。はっきりしないものは、NDT 関連活動であることを示す必要がある。NDT 関連活動であることを示さない場合、NDT 関連活動とは認めない。
- * 「④活動の名称」は、「③分類内訳名」における活動内容とする。
- * 「⑥本人の氏名」は、クレジットシステム対象者であることが分かること。本人であることが、はっきりしないものは認めない。

以上